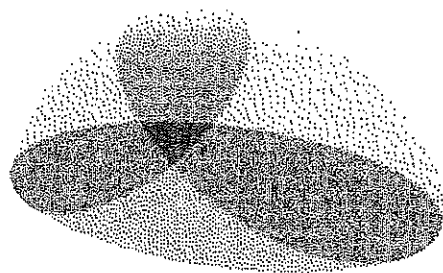


令和2年度  
ラボラーレ事業報告書（案）



みんなの「生きる」を  
社会福祉法人

社会福祉法人ふれあいの里



## II. 令和2年度ラボラール事業報告書（案）

### 1. はじめに

関係法令を遵守するとともに『法人の理念』に基づき、利用者の意思及び人格を尊重し常に利用者の立場に立った個別支援計画を作成し、適切且つ良質なサービスの提供を行うことをあたりまえに、前年度に築き上げた土台をより強い基盤とし、安心、安全のサービス提供、安定した運営、働きやすい環境の構築に職員全体で取り組んだ。現況に合わせた役割分担の編成、日々のコミュニケーションと定期的な全体ミーティングで明確な方向性を職員全員で確認、統一意識をはかり、強みである「チームワーク」で業務にあたることでサービスの質の向上、職員のスキルアップへとつなげた。

コロナ禍の不安もある中で、できることを一つ一つ丁寧に対応し取り組むことで、皆が安心して気持ちよく過ごし関われる環境作りにも力を注いだ。感染防止を図りながら限られた活動や関わりの中でも、新たな出逢い、関わる時間、人と人とのつながりを常に大切に感じ、考えながら職員全体で取り組んできた。

また課題である就労支援事業収入増を図り平均工賃額1万5千円の目標達成には至らずの結果ではあるが、令和2年度に大切にしてきた人と人のつながりや多くの方から頂いた心温まる言葉は、ご利用者様、職員共に大きな喜びとして感じる事ができた。

### 2. 職員の配置状況

職名	施設長	サービス 管理責任者	看護師	生活支 援員	職業 指導員	目標工 賃達成 指導員	機能訓練 指導員 (嘱託)	医師 (嘱託)
定数	1	1	1	14	1	1	1	1

### 3. 登録利用者の状況（令和3年3月31日現在）

#### (1) サービス区分毎 男女別登録利用者の状況

サービス区分	定員	登録現員		計
		男	女	
就労継続支援B型	20名	11名	8名	19名
就労移行支援	0名	0名	0名	0名
自立訓練(生活訓練)	6名	4名	2名	6名
生活介護	14名	8名	11名	19名
日中一時支援	5名	6名	2名	8名
合計	45名	29名	21名	52名

(2) サービス区分毎 地区別登録利用者状況

サービス区分	定員	市町村名	計	合計
就労継続支援B型	20名	石巻市	18名	21名
		東松島市	1名	
		登米市	2名	
就労移行支援	0名		0名	0名
自立訓練(生活訓練)	6名	石巻市	3名	6名
		東松島市	1名	
		登米市	2名	
生活介護	14名	石巻市	14名	18名
		東松島市	1名	
		南三陸町	1名	
		登米市	2名	
日中一時支援	5名	石巻市	6名	9名
		登米市	3名	

就労移行支援：休止中

(3) 性別・年齢別の登録利用者状況

年齢区分	男	女	計
～14歳	名	名	名
15歳～19歳	1名	2名	3名
20歳～29歳	14名	9名	23名
30歳～39歳	6名	5名	11名
40歳～49歳	2名	5名	7名
50歳～59歳	2名	1名	3名
60歳～69歳	3名	1名	4名
70歳～	1名	名	1名
計	29名	23名	52名

(4) 障害の状況

障害の状況	男	女	計
身体障害	10名	11名	21名
知的障害	21名	18名	39名
精神障害	5名	2名	7名
手帳なし	名	名	名
(内) 重複障害	7名	8名	15名
合計(重複含めず)	29名	23名	52名

4. 事業毎の稼働率状況

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活介護	14	112%	117%	118%	116%	112%	114%	109%	112%	109%	114%	116%	113%
自立訓練	6	57%	49%	52%	51%	51%	48%	43%	42%	42%	49%	73%	71%
就労B型	20	93%	90%	96%	96%	88%	95%	93%	91%	87%	87%	87%	87%
日中一時	5	72%	70%	69%	65%	64%	72%	65%	64%	51%	59%	48%	58%

※就労移行支援は休止中

5. 作業種別及び部門毎の活動状況

令和2年度は目標にしていた工賃1万5千円以上を達成は未達成の結果となっている。

(令和元年度 ¥10,447円)

(1) パン作業

個別支援計画に基づきながら、一人一人の障害特性に合わせ、一緒にステップアップできるような支援を行うことができた。内容としては、生地分割・計量、パイやブレッドの成形、袋入れ、洗い物、拭き方、ラベル貼り、販売活動など多岐に渡り行った。

安全に作業を行い、購入したお客様にも安心して美味しく食べて頂くためにも、作業前の体調チェック・衛生チェックを利用者様、職員ともに行うことも新たに取り組み始めている。異物混入には十分に気を付けているが、製品に刷毛の毛が付着し、お客様から連絡を頂いたこともあり、より一層みんなの目で確認すること・声を掛け合うことで安心して購入いただけるよう行った。

販売については、コロナ禍ではあるが、感染症対策をしっかりととりながら、利用者様と共に桃生支所・河南支所・新たに石巻駅前イオン店の3ヶ所で販売する機会が確保でき、売り上げを伸ばすことができた。その他、社会福祉協議会や子育て支援センターでのイベントで

の販売、合同庁舎やイトーヨーカドー店内での販売会にも積極的に参加することができている。販売活動を通じて、楽しみややりがいを感じられるよう、また、お客様とのやり取りに自信をもってできるよう、職員自身が見本となり、笑顔で丁寧な接客を心がけることができた。お客様からも嬉しいお言葉や、心温まる電話を施設に頂き、利用者様と喜びを共に感じることもできた。

令和2年度も、季節毎の商品を取り入れながら、期間限定の販売を行っている。また、外部販売では、新商品の販売を開始しているが、どれも好評を得ており、順調に売り上げを伸ばしている。一人でも多くの方にラボラーレの美味しいパンを食べて頂ける為に、ワクワクするような広告の作成、送迎時に配達してもらうなど職員の協力を得ながら柔軟な対応をすることができた。

月に2回のパン給食の際には、みんなで成形やトッピングをおこない、あわせてデザートも製造している。デザート作りの工程では、盛り付けや計量などを取り入れて、家庭でも役割やつながりが持てるような支援を行うことができた。

## (2) 厨房作業

個別支援計画に基づき、支援を行ない個々の障がい特性や課題に挙げている目標を把握し、声掛けの工夫、見守り、段階的支援の工夫等、達成に向けて取り組んだ。

作業面では、安心安全な食事提供を行う為に、衛生面を徹底し、身だしなみ、洗髪、手指の傷などの確認、作業中の手袋の交換など衛生面に気を付けて業務にあたることで、安全な食事作りが出来た。しかし、コロナ禍において、手袋やマスクの消耗品の値上げがあり、消耗品を大切に使いながら作業にあたることも必要とされた為、衛生面は必須であるが、消耗品の使い方も作業手順を考えながら使う必要があり取り組んだ。

作業内容としては、食事の提供、食器洗浄や近隣の施設等へのランチ提供、近隣の小中学校への弁当作り、配達、石巻駅前イオン販売の弁当作り、作業の幅と販売の機会も増え、多くの注文が入った際には、早めに作業へ入り意欲的に取り組む利用者様も多く、やりがいにもつながっている。販売では外部の方とのやり取りや販売の仕方、声のかけ方等、接客が苦手な利用者様もいる中で、緊張感を持ちながら、地域の方と接する機会も多く、コミュニケーション訓練にもつながっており、一生懸命に取り組んだ。弁当の販売時は、買って頂くお客様から「おいしかったです」などと心温まるお言葉を頂き、喜びを感じることも増え、更なる作業への励みにつながった。

体調面においては、コロナ禍において、感染対策や検温などを行ない、体調不良で大きく体調を崩す利用者様は少なくほぼ安定して通所できていたものの、作業意欲はあるが体力面での課題がある利用者様については疲労からの休みにつながることがあった。

食事については、普通食、ミキサー食、刻み食、食器の個別対応、麺が苦手な方へのご飯提供など、利用者様のニーズに合わせた提供を行なった。また、目で楽しむことにも力を入れた提供の工夫も行なった。

### (3) F & C (ファーム&クリーン) 作業

F&C 作業に携わる利用者様も 20 名を超える日も多く、その中で利用者様の個別支援計画や特性を踏まえ、日々の体調や表情に気を配りながら、本人の目標に沿った作業内容や環境を作り出してきた。同じ作業を繰り返し経験することで、少しずつ出来なかった事が出来るようになる実感をして頂ける様配慮しながら、自身で気づいていない事を職員が具体的に言葉で伝え、達成感や自信に結び付けることが出来る様、支援を続けてきた。

また利用者様向けのセミナーの開催で、利用者様自身の課題や目標を達成するために何が必要かを具体的に知ることで、一人一人の作業に向き合う態度にも大きく変化が現れてきて見えた。

#### ■公園管理 (登米市受託・登米市内公園 3ヶ所)

令和 2 年に於いても、作業単価の交渉を試みたが、宮城県の最低賃金を超える程度の引き上げしか行えず、受託金額に於いては大きな変化は見られていない。

施設外就労における利用者様の支援については、常に個々の目標を意識しながら作業内容を提供してきた。作業を通して利用者様自身の気づき、発見を大事にし、作業を通して楽しみや達成感、自信を感じられる様、職員でも内容について共有し合い、振り返りを行いながら支援を行ってきた。

#### 【取り組み】

- ① 利用者様の特性を踏まえた上で、得手不得手を考慮しながら、安全に取り扱える道具の選定を行い、安心安全に作業に集中できるような環境づくりに努めた。口頭での理解が難しいと判断した場合は、一緒に作業を行いながら安全面の見極めを行い、事故防止に取り組んだ。また、屋外での作業である為、天候や気温で体調を崩さぬよう衣類の調整や水分の補給、季節によっては休憩なども視野に入れ、体調管理に十分気を配りながら作業を行う様努めた。
- ② 各利用者様個々の施設外就労における目的や課題を達成、克服できるよう作業の内容に盛り込み、必要都度、相手に合わせた言葉で説明し、理解した上で取り組んで頂ける様な対応に努めた。また就労を目指すうえで重要な挨拶、身だしなみ、言葉遣いなどのマナーについては、各個人に合わせて個別に必要都度説明を心掛け、利用者様自身が意識することに繋がった。

#### ■イチゴ生産

令和 2 年度はイチゴの定植を昨年同様 2400 株で作付けをしている。栽培については適時必要な手入れや殺虫、殺菌の防除、予防に努め害虫の影響はほとんど受けずに済んだが、予期しない病気の感染により被害が広がり、予定収量を大きく下回る結果となった。即時、石巻農業改良普及センターに病気の分析を依頼し、薬剤メーカーと対応を協議し、指導者立会

いの元、土壌改良における殺菌対策を実施した。売上金額は 253 万円を見込んでいたが、上記の問題が発生し、160 万円にしか達することが出来ず、4 割減で終えている。

また夏場の栽培、収穫では連日ハウス内温度が 40℃を超える日が続き、利用者様の体調面に配慮しイチゴに携わる作業を止め、屋内作業に切り替え、対応する日々も多く見られた。

その中でも利用者様は日々、赤く実を付けるイチゴを見て、喜びを感じながら楽しく作業に従事される様子を見ることが出来た。出来なかった作業も繰り返し経験を重ね、失敗から得た事も多く、成長を感じ取れる場面も多く見られた。

#### 【取り組み】

- ① 令和元年に発生した害虫による被害は、予防に努めた結果ほぼ見られずに済んだが、土壌に潜む菌の感染とその被害の甚大さを見抜くことが出来ず、関係機関に相談したが、死滅させるべく対策が見つからず、すぐに石巻農業改良普及センターに土壌分析を依頼し、原因が判明した所で、薬剤メーカーに相談し、翌年度からの発生を抑えるための対策を実施した。
- ② イチゴ栽培に於ける工数の不足については、F & C職員の中で作業をやりくりしながら空いている時間をイチゴの手入れや収穫に時間を確保し、不足分の工数を補った。作業の細分化を図りながら、利用者様にも多く関わっていただけるよう支援した。
- ③ 収穫量は病気の問題もあり大きく減少してしまっていたが、最後まで感染せずに済んだ株で平均的な収量を計算してみた所、去年は 306g/株だったが、令和2年は一株当たりの収穫量は 360g に近い数値に達する事が出来ていた。収益率については、取引先がコロナ禍の影響により販売が伸び悩む状況が見られ、販売単価引き下げの相談を受け、在庫を抱えても消化しきれない状況もあり、引き下げに応じざるを得ず、販売数量は伸ばせたが収益率の減少に至ってしまった。
- ④ 経費コストの多くは、薬剤に使われる割合が多く、その他消耗品についても、必要量を計算し、適量と思われる数量で発注し、無駄な経費を発生させない様取り組んだ。

#### ■野菜生産

令和2年度、ネギ売り上げ目標¥500,000 に対して給食センターからの発注が減少した事で約¥400,000 の売り上げとなっている。その他では登米市の株式会社ヨシケイからのマット消毒、近隣の園芸農家からの花の栽培に関する作業などの委託作業の収入多くありネギの売り上げ減少を補う形になり、売り上げ目標 120 万はほぼ達成となっている。

ヨシケイのマット拭き作業に関して、利用者様同士、一つの作業を一丸となって取り組む良い訓練となっていたものの、単調な作業と日毎の達成すべき枚数が多く、他作業に取り組む機会が減ってしまっている状況であった。その為、令和2年の12月をもってマットの消毒作業は終了としている。



## 【取り組み】

- ①利用者様への支援を見直しながら、利用者様の個々の特性を活かした作業提供を行うようにする事で生産性向上や効率化を図っている。また、市内スーパーでの野菜販売、近隣の園芸農家との交流といった、人と人との繋がりを大事にした取り組みを職員間はもちろんのこと、利用者様にもその重要性をお伝えし、販売活動や日々の作業で取り組んだ。
- ②これまで以上に 5S 活動に力を入れ、資材の置き場所を定位置にすることで準備や片付けを誰でもスムーズに完結できる工夫を行った。

## (4) 生活介護部門

個別支援計画を基盤に、運動や日中活動の機会を提供している。日々のご利用者様とのやりとりを通して、意向や希望を確認しながら活動を行い、季節やイベントを感じられる創作活動・レクリエーションを実施した。特に毎月の施設内装飾は日々の積み重ねで作り上げたものが形となり表れることで、満足感と喜びにつながった。

運動については、日常の運動の状況を伝え、理学療法士と連携しながら行い、日常生活がより有意義に活動できるよう、ご利用者様・ご家族の意向を確認しながら、理学療法士の助言を受けマッサージや運動等を継続することが出来た。ご利用者様一人ひとりが目標や役割を感じながら活動ができるよう機会の提供や声掛けの工夫を行い、コロナ禍で外出や交流の機会は減っている中で、できる限りストレスが発散できる活動や関わりを行った。

また、新規職員がいる中で、よりよいサービス提供のため、共に学ぶこと、連携強化や情報共有を図ることを目的としたフロアミーティングを毎日行ったが、まだまだ職員一人ひとりの課題も多くあり、伝達がうまくいかないことやご利用者様とのやり取りで不快を感じさせてしまうこともあった。

その中でも、職員自身の強みを考慮した体制を整えながら日々の業務にあたった。

支援者の多方面からの気づきの視点を大切にしながら課題提起と発案・改善を繰り返し、丁寧かつ根拠あるサービス提供を行えるよう努めた。

## 〈運動として〉

・理学療法士に現在の身体の状態を見ていただき、指導や助言を頂きながらマッサージやストレッチ、歩行器や平行棒を使用しての歩行運動等の実施

(個人の身体状況や運動内容の記録と管理)

・ベグ・洗濯ばさみ・将棋の駒等を利用しての指先の運動、創作活動や手あそびを通しての手や指先の運動の実施。

・通所後、運動・活動前の体操とウォーミングアップ、昼食前の口腔体操の実施

## 理学療法士の機能訓練指導の状況

理学療法士（機能訓練指導）：氏家PT													
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
指導	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
人数	7	10	7	7	7	8	6	8	6	8	6	9	89

〈レクリエーション活動として〉

・施設内での運動や活動（棒やセラバンド、ポンポン等を使っての全身運動やダンス、音楽鑑賞、ボールゲーム・宝探し・卓球・ボウリング・釣りゲーム等の体を動かす運動・塗り絵等）

- ・季節ごとの施設内装飾物
- ・書道展やアート展へ向けた作品制作と出展
- ・植物の定植と、管理しながらの施設内の環境美化活動

〈生活介護利用者様への作業提供・訓練として〉

- ・マット拭き。モップ掛け。道具を使っての拭き掃除。
- ・イチゴ栽培で使用するトレーや発泡スチロールなどの拭き作業
- ・トイレで使用する備品の補充、使用する新聞たたみ
- ・PCを使用して、給食で使用するラベル・給食の材料表等の作成作業。フロア活動で使用する色紙や台紙の作成。
- ・レクリエーションなどで使用している物品・施設内備品の拭き方
- ・作業内容や日中の活動を日誌に記録し文字と文章の訓練
- ・施設内でのパンや野菜販売がある際の金銭のやり取りの訓練
- ・

#### （5）自立訓練

利用者様のニーズに添った支援を行うため、施設内外の清掃の他、PC作業や農作業、レクリエーション、買い物等、幅広い活動内容の提供を行った。特に、農作業においては、利用者様間でも声を掛け合い協力し合いながら活動を行う事で、コミュニケーションスキルの向上を図り、更に、販売まで自分達で行うといった地域社会との関わりに目を向けた支援の提供に努め、将来的な自立へ向けた取り組みを行う事が出来た。その中で、挨拶や言葉遣い、身だしなみ、報告、連絡、相談といった基本的な部分の意識づけを心掛けて支援を行った。

また、個々の利用者様に合わせた個別活動では、得意な事を伸ばしながら、仕事に対する意欲の向上を促し将来的な自立へ向けた取り組みも段階的に行った。

その一方、活動の幅が広がった事で、利用者様の障害特性や得意不得意、個々の利用者様の抱える課題を踏まえた支援において配慮に欠ける事もあった。利用者様のその日の体調やストレス状況を見極め、決まった活動の提供だけでなく、より柔軟な体制での活動の提供が必要であると感じる事もあり、支援側として利用者様のモチベーションや持っている可能性を引き出す支援を行う事が求められると感じた。

#### （6）日中一時支援事業

日中一時支援の利用定員は5名であったが、体調不良や長期入院などの利用者様もあり、平均すると一日あたり3.1名の利用にとどまっている

自立訓練のサービス期間が終了し、日中一時支援にサービスを変更してラボラーレでの利用を継続されている利用者様も2名いらっしゃる。

利用されている方々に対しては、各々の意向を確認し作業や余暇活動を提供している。

また、例年は学校の夏休み期間中の祝日のみ利用されている方もあったが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、前記のような利用をされる方はいらっしゃらなかった。

## 6. 令和2年度 就労状況

\*就労状況・・・就職者 1名（就労継続支援B型利用者）

～就労への取り組みとして～

- 就労継続支援B型利用者様の施設外就労・・・登米市公園（通年）
- イトーヨーカドー、イオンでの物販活動
- ハローワーク、就業生活支援センターとの連携
- 求人票の掲示、更新
- 地域企業とのつながりの構築
- 積極的な就労支援、企業見学、実習支援、職場体験
- 就労へのモチベーション向上（利用者及びご家族）
- セミナーの開催

## 7. 職員の資質向上策と福利厚生及び施設に関する事項

### (1) 外部研修参加状況

変化の激しい社会福祉施設とニーズの多様化へ対応するため以下の研修へ参加し、ミーティングを利用し研修参加者による報告会を開催し、職員各々の資質の向上に努めた。

月日	研修名	研修内容	場所	参加者
10/22	スキルアップセミナー	統合失調症の治療薬	からころステーション	伊藤（し）・若山
11/29	スキルアップセミナー	発達障害を持つ方への就労支援	からころステーション	島本・遠藤・伊藤（し）
12/16	スキルアップセミナー	ASD 集団専門プログラムの紹介	からころステーション	伊藤（し）
1/20	スキルアップセミナー	「発達障害を持つ方への支援のありかた」～医療との連携について	からころステーション	氏家・伊藤（し）
2/12	みやぎ農福連携サポーター養成講座	座学・演習編	大崎市図書館	遠藤

2/17	スキルアップセミナー	「発達障害を持つ方への支援のありかた」～医療との連携について②	からころステーション	氏家・伊藤(し)
2/19	みやぎ農福連携サポーター養成講座	演習編	大崎市図書館	遠藤
2/26	令和3年食品衛生責任者養成講習会	食品衛生責任者養成講習会	宮城県石巻合同庁舎	島本
3/2	みやぎ農福連携サポーター養成講座	演習編	イシノマキ・ファーム作業所	遠藤
3/4	WEBセミナー	第一回 工賃向上とwithコロナ	ラボラール施設内 (zoom使用)	島本
3/15	WEBセミナー	第二回 工賃向上とwithコロナ	ラボラール施設内 (zoom使用)	島本

## (2) 内部研修

安心・安全、サービスの向上と職員個々のスキルアップを目的とし、内部研修会を開催した。

月日	研修名	研修内容：講師	参加者
4/7	てんかん発作時の対応	講義、演習(講師：鹿野看護師、萬代美保)	全職員
4/8	血圧測定の基本と技術について	血圧計の取り扱い、測定方法の説明(講師：鹿野看護師)	全職員
4/9	車椅子の基本操作について	車椅子の基本操作の確認(講師：萬代美保)	全職員
4/20	衣類の着脱介助について	着脱介助の基本(講師：沖津芳恵)	若山、氏家
4/27	視覚障害者の移動支援	椅子までの誘導について(講師：若山幸子)	全職員
5/20	不適切ケア自己チェックについて	自身のケアについての振り返り(講師：沖津芳恵)	全職員
7/20	対人援助の基本について	講義(講師：土井博貴)	全職員
11/19	防犯訓練	不審者侵入に対する対処方法、知識、技術を学ぶ(講師：桃生駐在所福井巡查)	全職員
12/22	アンガーマネジメントについて	講義(講師：土井博貴)	全職員

(3) 職員の福利厚生の実施内容

職員の健康管理と施設内感染の予防を目的とし、健康診断及びインフルエンザ予防接種並びに腰椎検査、感染症対策を期した。

健康診断	対象者：全職員 受診数：18名	場所：サンクリニック
インフルエンザ予防接種	対象者：全職員 接種者数：18名	場所：ラボラーレ

(4) その他（施設に関する事項等）

地域・圏域における情報交換等のための会議、また施設整備に関する保安点検等を実施した。

就労ネットワーク会議	ハローワーク石巻	沖津芳恵
桃生地域福祉推進委員会	社会福祉協議会桃生支所	萬代美保
自立支援協議会全体会	石巻市ささえあいセンター	佐々木央
食の自立支援	桃生支所	佐々木央

月日	名称	内容	場所/団体	職員
5/2、11/17	消防設備点検	消防設備点検	宮城ノーミ	土井・央
9/29、3/1	自動ドア保守点検	自動ドアの保守点検	フルテック	萬代
9/28	冷蔵庫保守点検	保守点検	ホシザキ	宗子
5/26、7/8 9/8、11/11 1/13、3/9	電気設備保守点検	電気設備の保守点検	日本テクノ	萬代
2/12	食品衛生監視	厨房作業場の検査、確認	石巻保健所	宗子
随時	車両点検	車両の保守点検	ディーラー	石川

## 8. 見学者並びに訪問者、実習の受け入れ状況

積極的に受け入れをし、ラボラーレの活動について多くの方に知って頂く機会を設ける取り組みを行った。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、見学者は少ない結果であった。

### \*施設見学者

月日	見学者件数	見学者数
4月～9月	4件	12名
10月～3月	4件	10名
合計	8件	22名

※個人での見学、他施設職員・保護者など

### \*支援学校実習

新型コロナウイルス感染予防のため、今年度の実習は行っていない。

## 9. 避難訓練の実施状況

通報、消火、避難誘導、乗車訓練、屋内退避等の動きを職員一人一人が理解し行動、訓練することで、非常時においても適切な対応がとれるよう、また利用者様が落ち着いて避難できるように以下の訓練を実施した。また、新規職員が新たに加わったこともあり、マニュアルの確認を行っている

### 避難訓練の内容

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、消防署の立ち会いは依頼せず、報告のみ行なっている。

月日	訓練	内容	参加人数	
			利用者	職員
11/13	総合避難訓練	避難訓練	43名	18名
3/12	総合避難訓練	避難訓練	43名	18名

## 10. 行事等の開催状況

### (1) 令和2年度 ラボラーレ内行事実施状況

月日	行事名	内容	場所
10/16	秋の芋煮大会	芋煮会 レクリエーション	ラボラーレ
毎月	祝日に係る催事	利用者様も交えての催事	ラボラーレ

※秋の芋煮大会においては、感染対策を行いながら、野外でスポーツ、レクリエーション等を企画しコロナ禍におけるストレス発散の機会を設けた

### (2) 地域交流行事

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、地域交流行事等は行っていない。

## 11. 地域における公益的取り組み

・高齢者世帯の方を対象に、栄養バランスの摂れた食事を低価格で味わっていただきながら、外出と交流の機会を提供した。

